



平成25年度

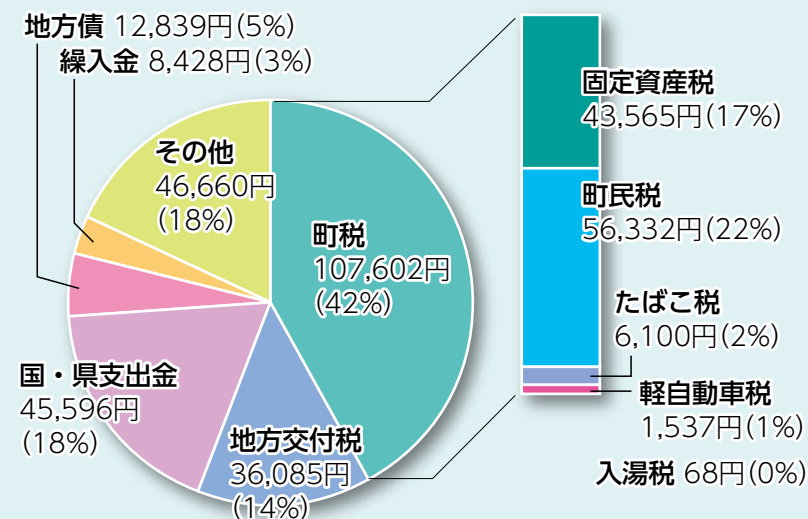
まちの決算と仕事

目次 contents

- 2 一般会計の決算状況
- 4 まちの主な仕事
- 8 税金の負担額および使用額

税金の負担額および使用額

一人あたりの負担額…10万7,602円
一人あたりの歳入額…25万7,210円



町民一人あたりの負担額は？

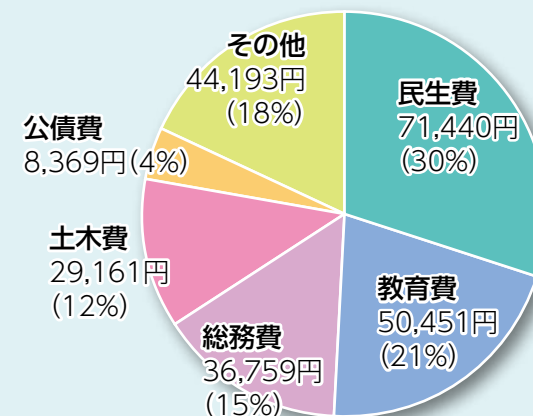
平成25年度の税金を一人あたりに換算すると、町民税や固定資産税の増収により、2,541円増の10万7,602円となりました。

それに対して一人あたりの歳入は24万373円となっており、その差額の一部を、地方交付税・国県支出金などの国や県から交付されるお金や、家庭で言えばローンにあたる町債を借入れたり、貯金にあたる基金を取り崩して補っています。

町民一人に、どれくらいのお金が使われたの？

一人あたりに使われたお金を主な目的別で見ると、民生費では認可保育所整備や介護施設整備の終了等により6,932円減、その他に区分されていますが、大きな災害が無かったことにより災害復旧費が4,857円減、総務費6,799円減、土木費2,655円減となる一方で、教育費では日吉台小学校増築事業や（仮称）明石台小学校建設事業などにより6,655円増となり、全体として一人あたりに使われたお金は前年度に比べて1万9,769円下回る24万373円となりました。

一人あたりに使われたお金…24万373円



健全な財政運営に努めています

●健全化判断比率・資金不足比率

富谷町は、地方公共団体の財政の健全性に関する基準のひとつである早期健全化基準を大きく下回り、昨年度に引き続き健全な財政運営を行っています。

○健全化判断比率 一つでも早期健全化基準を超えた場合、財政健全化計画の作成が義務付けられるなど、自主的な改善努力による財政健全化が求められます。

区分	富谷町	早期健全化基準	内容
実質赤字比率	—	13.68	一般会計の実質赤字額の標準財政規模に対する割合
連結実質赤字比率	—	18.68	すべての会計の実質赤字額の標準財政規模に対する割合
実質公債費比率	-1.8	25.00	公債費・公債費に準じた経費の標準財政規模に対する割合
将来負担比率	—	350.00	地方債の残高のほか、将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合

※赤字比率や将来負担比率は算定されないため、「—」表示となっています。

○資金不足比率

富谷町の公営企業会計（水道事業、下水道事業）は、資金不足比率が算定されませんでした。

健全化判断比率と資金不足比率は、自治体の財政健全化度を判断するための指標です。基準を超えた場合は、一般会計のほか特別会計や公営企業会計なども含めた財政健全化への取組みが必要となります。

富谷町では、自立した5万人都市と町民の皆さんが主役となる新しいまちづくりを進めるため、計画的な町政運営の基礎となる新総合計画(H21～H30)を策定し、スタートしています。

まちづくりの基本理念

幸せを実感でき 笑顔輝く あったかい富谷

将来像 1

子どもたちのための教育環境と未来を創り出すまち・すべての世代が生き生きと暮らせるまち

将来像 2

豊かな自然環境と活力ある地場産業を自慢と誇りにできるまち

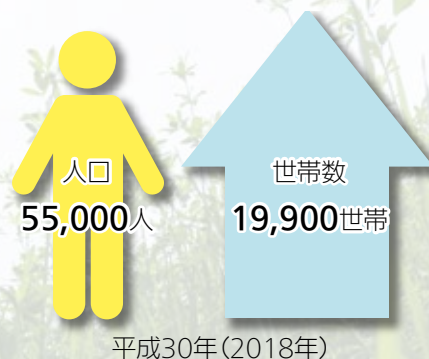
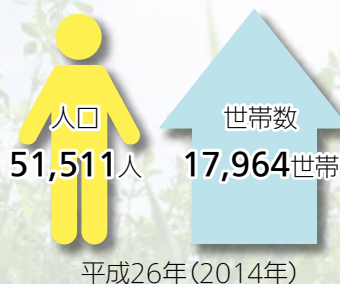
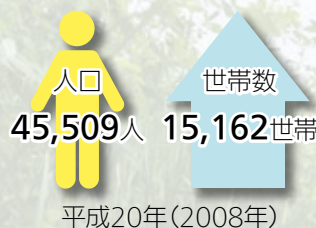
将来像

将来像 3

町民と町が直接つながる あったかいまち

人口と世帯数の推移

※平成20、26年は8月末の住民基本台帳人口です。平成30年は推計人口です。



特別会計・水道事業会計の決算状況

●特別会計

特定の事業を行うために、一般会計とは別に計上される会計を特別会計といいます。
平成25年度は、4会計とも黒字決算となりました。

会計	収入済額	支出済額	内容
国民健康保険特別会計	39億9,458万円	38億3,984万円	医療費の支給、特定健康診査など。
下水道事業特別会計	12億4,210万円	12億2,896万円	公共下水道の整備など。
介護保険特別会計	19億9,651万円	19億1,266万円	介護サービス給付費など。
後期高齢者医療特別会計	2億4,515万円	2億4,116万円	後期高齢者医療広域連合への給付金など。

●水道事業会計

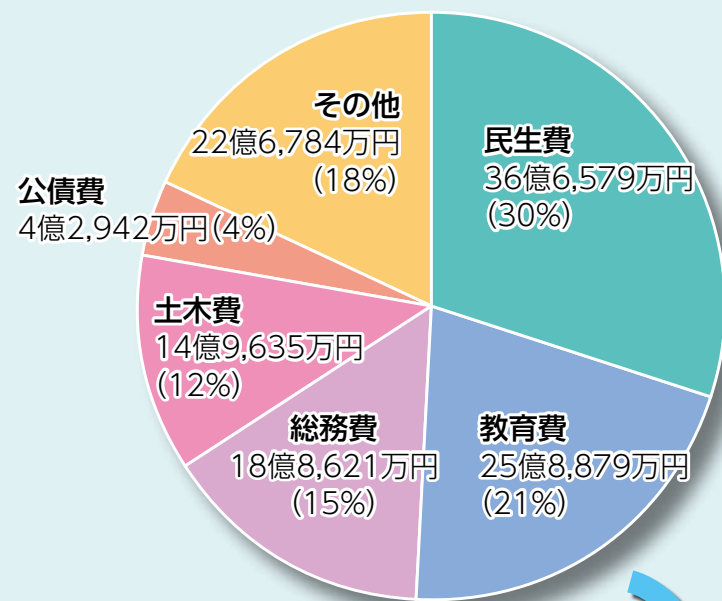
水道事業会計は、一般会計とは異なり企業会計の方式によって経営しています。
安全でおいしい水道水を安定供給するために、水道施設の維持管理等を行っています。

会計	収入決算額	支出決算額	内容
収益的収支	10億2,943万円	10億4,848万円	収入のほとんどは水道料金。支出は受水費や固定資産の減価償却など。
資本的収支	6,947万円	1億4,468万円	支出は企業債償還や配水管更新工事など。

一般会計 歳出 123億3,440万円

歳出は、前年度と比べると教育費が17.8%ほど増加しており、主な事業内容は日吉台小学校増築事業や（仮称）明石台小学校建設事業、各小学校の維持・管理や再生可能エネルギー導入事業などを行いました。

町ではこれからも、効率よく住民ニーズに沿ったまちづくりを進めていく為に、健全な財政を維持する努力をしています。



町民1人あたりに換算すると…

平成25年度

24万373円

民生費	7万1,440円
教育費	5万 451円
総務費	3万6,759円
土木費	2万9,161円
公債費	8,369円
その他	4万4,193円

※H26.3.31現在の住民基本台帳人口
51,313人で算出しています。

平成24年度

26万142円

民生費	7万8,372円
教育費	4万3,795円
総務費	4万3,558円
土木費	3万1,766円
公債費	9,851円
その他	5万2,800円

※H25.3.31現在の住民基本台帳人口
50,197人で算出しています。

用語解説

●民生費

児童・高齢者・障害者福祉、医療費など福祉全般の経費です。

●教育費

小中学校・幼稚園の管理、生涯学習やスポーツ事業などの経費です。

●総務費

防犯、交通安全、町民バスの運行などの経費です。

●土木費

道路の管理や改良、町営住宅、公園管理などの経費です。

●公債費

町が借りたお金やその利子を返済するための経費です。

●その他

衛生費、消防費、議会費、災害復旧費などの経費です。

一般会計決算の状況

歳入	131億9,826万円
歳出	123億3,440万円
翌年度に繰り越した事業に必要な財源	4億2,590万円
実質収支	4億3,796万円

平成25年度の一般会計の決算は、歳入が131億9,826万円、歳出が123億3,440万円となり、前年度より歳入で7.0%、歳出で5.5%の減少となりました。

また、歳入と歳出の差引額から、平成26年度に繰り越した事業に必要な財源4億2,590万円を除いた実質的な収支は、4億3,796万円の黒字となっています。この黒字分は、平成26年度の事業に充てるほか、平成26年度以降に町のお金が不足する場合の貯金として、基金に積み立てました。

■自主財源

76億4,116万円 (58%)

町税や使用料など、町が国に頼らず、自主的に調達できるお金のことです。この自主財源が多いと町の予算にゆとりが生じるため、歳入に占める割合ができるだけ高いことが望ましいとされています。

■依存財源

55億5,710万円 (42%)

地方交付税や国・県支出金など、国・県の意思により交付されるお金のことです。また、町債もこれに該当します。

用語解説

●町税

皆さんが町に納めた税金（町民税、固定資産税、軽自動車税など）です。

●繰越金

平成24年度から平成25年度歳入へ持ち越された決算剰余金です。

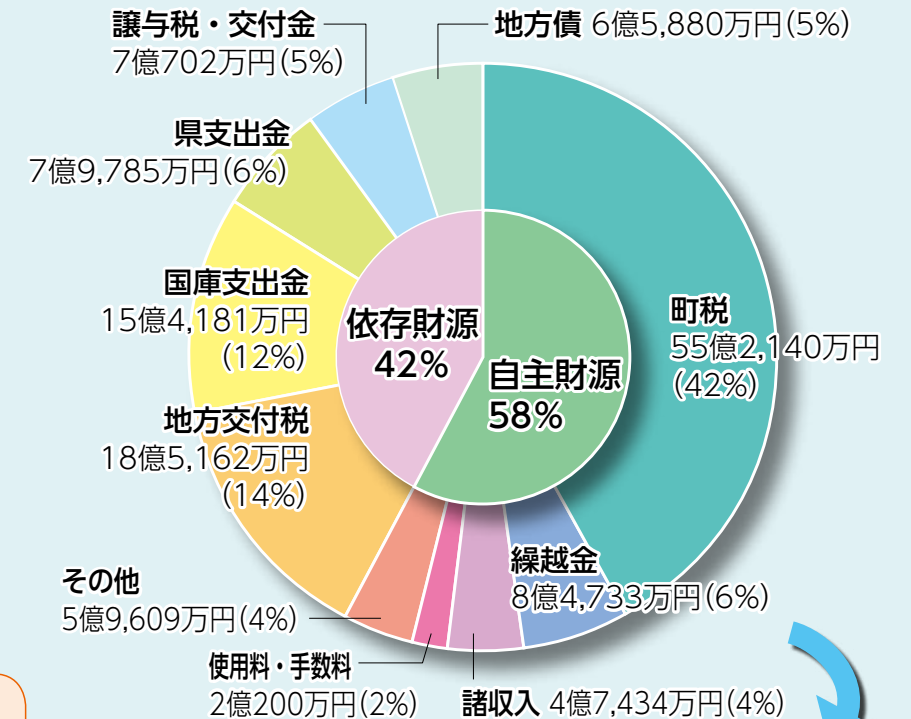
●地方交付税

全国どこでも同じサービスが受けられるよう、国から配分されるお金です。

●国・県支出金

国や県が使いみちを決めて交付するお金です。

一般会計 歳入 131億9,826万円



町民1人あたりに換算すると…

平成25年度

25万7,210円

町税	10万7,602円
国・県支出金	4万5,596円
地方交付税	3万6,085円
地方債	1万2,839円
その他	5万5,088円

※H26.3.31現在の住民基本台帳人口
51,313人で算出しています。

平成24年度

28万2,799円

町税	10万5,061円
国・県支出金	5万2,652円
地方交付税	4万 879円
地方債	1万7,688円
その他	6万6,519円

※H25.3.31現在の住民基本台帳人口
50,197人で算出しています。

平成25年度

富谷町決算報告

平成25年度決算が、平成26年第3回富谷町議会定例会で認定されました。
皆さんに納めていただいた税金などがどのように使われ、まちづくりがどのように進められているか、お知らせします。
問 財政課 財務担当 358-0619

福祉部 健康増進課

感染症予防事業…………… 1,764万円
季節性インフルエンザについては、65歳以上の方に対し、ワクチン接種費用に対する一部助成を実施しました。また、65歳以上の方の肺炎球菌による肺炎を予防するため、ワクチン予防接種費用の一部助成を実施しました。さらに、風しん流行に伴い、先天性風しん症候群発症予防を目的に、臨時的緊急対策として、風しん予防ワクチン接種費用助成を実施しました。

特定健康診査等事業…………… 3,270万円
富谷町国民健康保険に加入している40歳から74歳までの方を対象に、生活習慣病に着目した特定健診を実施しました。健診の結果、特定保健指導の対象となった加入者には、昨年に引き続き「健診結果相談会」を実施するなど、生活習慣の改善に向けた保健指導を積極的に行いました。

福祉部 長寿福祉課

敬老祝い事業…………… 1,718万円
全町内会で開催される地区敬老祝い事業へ、補助や救護等の支援を実施しました。敬老祝い金については、各地区の敬老祝い事業の際、ご参会の皆様さへ手渡しあるいは役員の訪問により贈呈しました。



障害者自立支援給付事業…………… 3億105万円
第3期障がい福祉計画の2年を迎え、計画理念「障がい者が住みなれた地域で安心して生涯を過ごせる町」を目指し、介護給付・訓練等給付などを適正に実施しました。

高齢者健康づくり事業…………… 359万円
ゆとりすとクラブ・サロン事業は、1箇所新規に設立し18箇所となり、地域特性に合わせた活動の支援を行いました。健康フェスティバルは、5回の実行委員会を経て開催し、一般高齢者の参加も含めて、仲間づくり、健康づくりの場となりました。

高齢者在宅生活支援事業…………… 1,872万円
高齢者が安心して在宅生活を過ごせるように、配食サービス、緊急通報システム等の事業を委託事業者である社会福祉協議会等との連携のもと実施しました。

地域福祉フォーラム事業…………… 64万円
「震災からの学びを風化させず、バトンを未来につなぐ」をテーマに、基調講演、パネルディスカッション、展示体験等の構成で、関係機関協力のもと実施しました。



住民検診事業…………… 1億3,945万円
夜間・休日健(検)診の実施や、イベントとの同時実施など、受診しやすい環境を整えて、多くの住民の皆さんに受診していただけるように努めました。また、新たに成人歯周疾患健診を実施するとともに、脳検診の対象年齢に40歳を加え、事業の拡充を図りました。



福祉部 子育て支援課

子ども医療費助成事業…………… 2億303万円
平成25年10月より、子ども医療費の入院外の助成対象を小学3年生から中学3年生までに拡大しました。中学3年生までの子どもを持つ保護者の負担軽減を図り、生活の安定と福祉の増進に努めました。

認可保育所運営事業…………… 3億6,908万円
認可保育園の維持向上を図るため、各事業の円滑な執行を図り、児童福祉の増進に寄与しました。明石台わか葉保育園を定員120名で開園し、待機児童の解消に努めました。



保育所運営・維持管理事業…………… 1億3,192万円
園児の明るく健やかな成長を援助するため、適正な町立保育所の運営及び施設の維持管理に努めました。

地域子育て支援事業…………… 621万円
心にゆとりを持って子育てができるようスタートした「西コミ子育てサロン」では、安心して子育てができる環境を整備し、子育て親子の憩いの場として、親子が気兼ねなく集い、つながりあうことができる場を提供できました。

家庭的保育事業…………… 1,729万円
多様な保育ニーズへの対応や待機児童解消を目的とした家庭的保育事業(保育ママ)制度を3名により運営しました。

病児・病後児保育室運営事業…………… 716万円
病児・病後児保育「コミュニティクリニック上桜木さくら保育室」を開設し、開始一年間の登録者は167人となりました。病児・病後児の預け先が確保されたことで、保護者の就業に係る安心な環境づくりに寄与しました。



(仮称) 明石台小学校放課後児童クラブ新設事業…………… 1,842万円
(仮称) 明石台小学校新設に伴い、児童の安全確保の観点から小学校敷地内に児童クラブ専用スペースの整備を行いました。



将来像 1 子どもたちのための教育環境と未来を創り出すまち・すべての世代が生き生きと暮らせるまち

未来の富谷を担う子どもたちへの教育の充実

学び続けることのできる環境の整備

安心して子育てのできる環境の整備

誰もが健康で生き生きと生活できる環境づくり

教育委員会 学校教育課

(仮称) 明石台小学校建設事業…………… 3億4,393万円
東向陽台小学校の児童数増加に伴い、平成27年4月開校を目指し、(仮称) 明石台小学校の校舎新築工事に着手しました。



日吉台小学校校舎増築事業…………… 1億8,966万円
児童数の増加に対応するため、日吉台小学校校舎増築工を行い、学習環境の整備に努めました。

町立小学校運営・維持管理事業…………… 1億8,899万円
町立小学校7校の運営・維持管理費です。特別支援教育支援員を3名ずつ配置し支援体制強化に努めました。

教育委員会 生涯学習課

協働教育推進事業…………… 314万円
宮城県プラットフォーム事業を活用した学校教育支援と、家庭教育支援・地域活動支援にも取り組み、地域と家庭、学校が協働して子どもを育てる事業を展開しました。支援ボランティアの増加や地域団体を活用した事業等、多角的な視点で子どもを育てる環境が整い、それぞれ連携を深めることができました。

公民館維持管理事業…………… 1億2,991万円
施設の老朽化対策および利用者の安全確保のため、東向陽台公民館への防犯カメラの設置、富谷中央公民館大ホール照明点検回路改修等、改修・修繕を実施しました。また、各公民館図書室をネットワーク化した図書管理システムが稼働しました。

町立中学校運営・維持管理事業…………… 1億1,211万円
町立中学校5校の運営・維持管理費です。中学校における学習支援・生活支援を強化するため特別支援教育支援員を配置し、支援体制の強化を図りました。

町立小中学校図書推進事業…………… 3,424万円
「学校図書館支援室」を中心とし、心豊かでたくましく生きる子どもの育成を図るため、読書活動推進に努めました。また「富谷町調べる学習コンクール」の応募枠を中学生まで拡大し系統的な展開を図りました。

学校給食センター運営・維持管理事業…………… 4億3,944万円
新給食センターになり、引き続きアレルギー対応給食を含め安全安心な給食が提供できました。また、学校給食・食育に係る情報の発信・提供や見学会などを行いました。



再生可能エネルギー等導入事業…………… 1億1,526万円
富谷中央公民館、富ヶ丘公民館、東向陽台公民館、成田公民館に、太陽光発電システム(太陽光パネル)を導入しました。

西成田コミュニティセンター運営・維持管理事業…………… 1,160万円
自然散策エリアで自然体験活動ができる「西コミおっちゃん森」の充実を図るため、引き続き整備しました。また、学校長期休業日の夜間警備を引き続き行うなど、利便性を高めました。交流と学習の場として町民から親しまれる施設運営が実施できました。

将来像 3 町民と町が直接つながる あったかいまち

住民との協働による
まちづくり

効果的・効率的な
行政経営



企画部 あったかまちづくり推進課

町民体育祭事業… 344万円

町内44行政区が一堂に会し、競技をとおして地域の輪と交流を深め、参加した町民がこの日一日を心から楽しみ富谷町としての一体感の醸成に寄与するものとして開催しました。



総務部 総務課

町内会館整備事業…………… 6,484万円

町内会の運営とコミュニティ活動の支援のため、町内会館の修繕等を行い、活動拠点の確保に努めました。平成25年度は、太子堂会館の新築工事および富ヶ丘北部会館の新築工事に向けての準備に着手しました。



各種相談事業…………… 244万円

人権、行政、生活相談及び行政書士、司法書士同席の相談会を月2回実施し、専門の相談員による消費生活相談を週2回実施しました。

総務部 税務課

徴収事業……………3,347万円

納期内納税及び自主納税を基本として、あらゆる機会を通じて納税者の納税意識の高揚を図り、収入未済額縮減に努めました。

企画部 経営企画課

町制50周年記念事業…………… 809万円

町制施行50周年を迎え、記念式典を挙行了しました。また関連イベントとして「NHKのど自慢」の開催や「大人の情報誌りらく」の特集記事への掲載などにより全国に富谷町をPRしました。



企画調整事務…………… 621万円

定期的に庁議を開催し、町政運営の基本方針および重要施策に関する事項等の審議や総合調整を行い、迅速かつ適切な行政経営を推進しました。

行政情報紙発行事業……………1,351万円

「広報とみや」の発行により、町の施策全般や町民の生活に必要な情報などを適時かつ正確にお知らせしました。また、町制施行50周年記念広報用クリアファイルを作成し、全戸配布しました。その他、イベント撮影業務委託を行い、ホームページと連動した動画による情報発信等を実施しました。

5万人都市推進事業…………… 18万円

「5万人都市 とみや 新ステージへ」のもとに、市制移行を見据え、宮城県との情報交換や総務省への訪問説明を実施しました。

企画部 財政課

公有財産維持管理事業…………… 1億5,593万円

本庁舎については、庁舎管理業務を委託している業者との連絡調整を密にし、定期点検等の確実な実施を行いました。また、町有未利用財産の適切な維持管理に努めました。

将来像 2 豊かな自然環境と活力ある地場産業を 自慢と誇りにできるまち

企業誘致による
新たな就業の場の提供

地域資源を活かした
魅力の向上

『居住の場』として選
択され続けるための
環境づくり

安心して生活できる
環境づくり

企画部 産業振興課

企業誘致事業……………3,904万円

企業立地に向けて、宮城県主催の企業立地セミナーなどの機会を通してトップセールスを行い、宮城県と連携を図りながら情報収集や誘致活動を行いました。また、富谷町企業立地奨励制度として、4企業に企業立地促進奨励金を、2企業に雇用促進奨励金を交付しました。

労働雇用対策事業……………1,618万円

公益社団法人富谷町シルバー人材センターと連携協力し、子育てサロン「ほっと育く」、高齢者就業事業等の支援を行い、高齢者層を対象に地域貢献や福祉の増進を図りました。

企画部 あったかまちづくり推進課

十三夜魂のふるさとまつり運営事業……………986万円

「ふるさと富谷の歴史と絆をつむぐ町民5万人総参加のまつり」をコンセプトに第7回のまつりを開催しました。また、「奥州街道宿場町しんまち」の往時の賑わいを今に再現し、活気・躍動・賑わいを感じられるまつりを目指しました。



建設部 都市整備課

側溝整備事業…………… 1億2,018万円

歩行者の安全確保と車両通行の円滑化を図ると共に、住環境の改善を図るため側溝の有蓋化を実施しました。

道路改良・歩道整備等事業…………… 3億6,196万円

道路ネットワークの整備と安全で快適な道路環境を実現するため、既設町道における道路改良を実施しました。また、安全で快適な歩行空間を確保するため、歩道の新設と既設歩道のバリアフリー化を実施しました。

建設部 都市計画課

清水沢・宮ノ沢住宅建替事業……………9,086万円

老朽化した町営住宅について建替を進めることにより、安全かつ良好な居住施設の整備に努めました。

ブルーベリー産地拡大事業……………101万円

町の特産品であるブルーベリーの生産増と産地拡大を図るため、「ブルーベリー専任アドバイザー」を委嘱し、生産者へ栽培技術の指導と助言を行いました。また、ブルーベリースイーツフェアの開催など、ブルーベリー生産組合と連携しながら町内外へPRしました。



緊急雇用創出事業臨時特例交付金事業

平成20年度に国が創設した2つの交付金制度に係る補助事業を活用して、失業者雇用に向けた事業創出を図りました。

総務部 総務課

消防団員設置・運営事業……………1,542万円

火災鎮火後の残火警戒や大雨の影響による河川付近での警戒待機をはじめ、消防ポンプ軽積載車により積極的に火災予防啓発のため出動するなど、地域の安全・安心を守る活動を行いました。

防災用備蓄物品等整備事業……………436万円

公共複合施設けやき館(旧第一学校給食センター)を災害時の拠点施設と位置付け、分散配備していた飲食糧を集約しました。また、24箇所目となる防災備蓄倉庫をあけの平公民館へ設置しました。

災害対策総務事務事業……………715万円

宮城県地域防災計画との整合性、町の震災時の取組・教訓を反映させるため、2カ年による富谷町地域防災計画の改定に着手しました。

防災用情報通信設備等維持管理事業・整備事業…321万円

前年に整備したMCA防災行政無線について、適切な運用管理に努めました。

総務部 町民生活課

ごみ集積所整備事業…………… 100万円

衛生的かつ利便性の高いごみ集積所の整備促進を目的に、町内会の申請に基づき、整備費用の一部を助成することにより、地域ごみ集積所の不便・不快の解消に寄与しました。

放射線量測定業務……………681万円

放射線量について、町内64箇所の定点観測を実施し、測定結果を町ホームページ等で公表しました。

東日本大震災関係

災害復旧等に要した経費 5,357万円

経費の詳細

区分	決算額	経費概要	内容
災害救助費	687万円	災害救助法に基づき市町村長が救助の実施に当たった経費	住宅応急修理支援金
災害復旧費	4,670万円	災害によって生じた被害の復旧に要する経費で施設の原形復旧に関する経費	町道の原形復旧